

令和元年度

元気な高齢者を増やそうプロジェクト
～みんなが元気になるオンリーワンなまち～

福祉部

(目的)

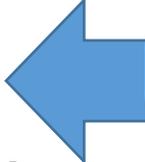
- 逗子市の元気な高齢者を増やす
(子どもから高齢者までみんなが健康に年を重ねることができる)
- 健康でいるために、疾病予防や介護予防に取り組んだ結果、医療費・介護費の抑制、適正化が図れている
(高血圧症・糖尿病に至る前のアプローチ)

(実施)

市役所全庁での体制をつくり、市内全域で適時各団体の参加を募っていく
例：商工会、体育協会、ズシッブ連合会など

(目的を達成するための5本の柱)

- ① 健康管理 定期的な健診（検診）・受診 体重管理などの
セルフチェック
- ② 食 事 毎日の食事で健康づくり
(減塩等の食支援による健康維持・重症化予防)
- ③ 運 動 自分らしくいつでも元気に
- ④ 口腔ケア 口から全身を健康に
- ⑤ 社会参加 街に出ていつまでもいきいきと



特に高齢者は
自立支援・重度化防止を

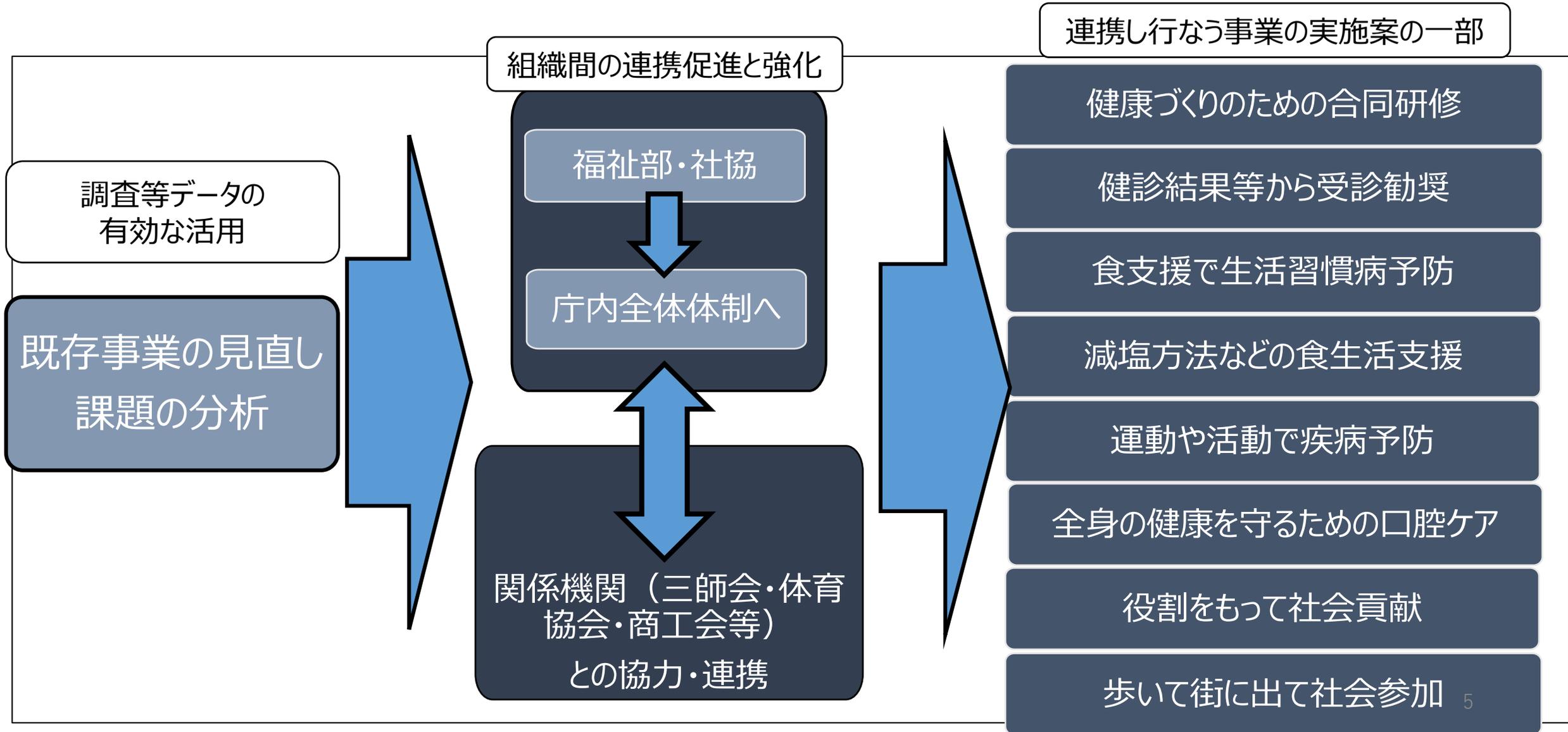
(目標の設定)

目的 (あるべき姿)	達成すべき数値目標の例			
<p>逗子市の元気な高齢者が増加している</p>	項目	2018年度末	2022年度末	
	<p>・元気高齢者数の割合 (総合計画及び福祉プラン最終年度目標値)</p>	80.22%	<p>➔</p> <p>83%</p>	
	<p>・生活習慣病に起因する患者数の割合</p>	高血圧	28.2%	<p>➔</p> <p>27%</p>
		糖尿病	15.9%	<p>➔</p> <p>15%</p>
	<p>・年間の一人当たりの医療費</p>	365,490円	<p>➔</p> <p>300,000円</p>	

- ※ 今後、調査等のデータに基づき、短期→中期(2022年)→長期(2030年)の具体的な数値目標を設定する
- ※ 各事業の実施においても、数値目標を設定し、意識をもって進める

(連携して行なう事業の実施手順)

※ 各課で実施している元気高齢者を増やす取り組みの調査結果を基に、合理的な方法を見出す



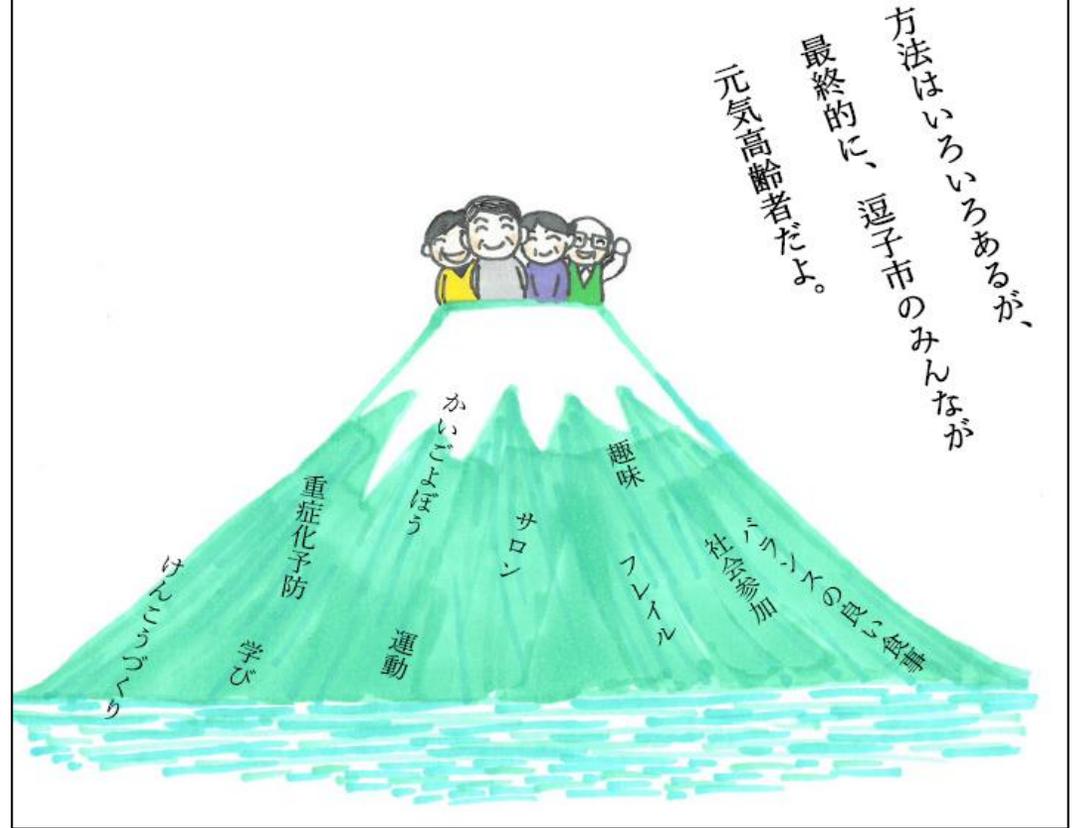
(キャッチフレーズ・シンボルマークの作成)

「オール逗子、
みんながハッピー。」

(参加型エントリーパネルの設置)

市民参加型のパネルとし、夢や目標を書くエントリーシートを作成。エントリーした内容は、富士山の尾根として貼っていくスタイルを予定。

イメージ図案



(スケジュール)

(2019 四半期ごとに取り組みの進捗を確認する)

(前期)						
月	4	5	⑥	7	8	⑨
内容	← 既存事業の見直し 課題の分析 →		← 庁内での連携して行なう事業の検討 →			
(後期)						
月	10	11	⑫	1	2	③
内容	← 関係各団体との連携体制づくり →		まとめ			

(市民周知のための戦略)

※非常に重要であり市民向けにマスメディアで取り上げてもらうなど
あらゆる手法を考える

- 広報、ホームページ、SNS等の活用
- 市民や関係者向けのシンポジウム等の対話形式のワークショップなど
- 新たな周知方法の検討